

製品名: CD72 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08447**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	CD72
別名	CD72; B-cell differentiation antigen CD72; Lyb-2; CD72
遺伝子 ID	971.0
SwissProt ID	P21854
免疫原	抗血清はヒト CD72 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 170-220

背景

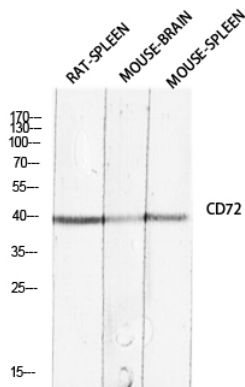
機能: B 細胞の増殖と分化に関与する。CD5 と関連がある。、オンライン情報: CD72,類似性: C 型レクチンドメインを 1 つ含む。、サ

ブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。組織特異性: プレ B 細胞および B 細胞 (終末分化形質細胞は除く) ,機能: B 細胞の増殖と分化に関与する。CD5 と関連がある。 ,オンライン情報: CD72,類似性: C 型レクチンドメインを 1 つ含む。 ,サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。 ,組織特異性: プレ B 細胞および B 細胞 (終末分化形質細胞は除く) ,

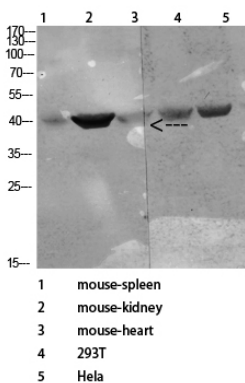
研究分野

B 細胞抗原;

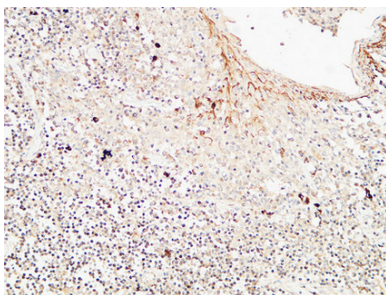
画像データ



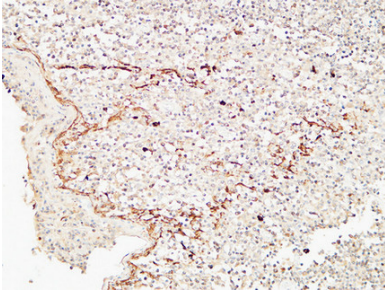
CD72 抗体を用いたラット脾臓、マウス脳、マウス脾臓の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



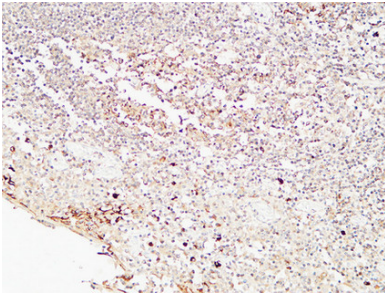
1:1000 に希釈した抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



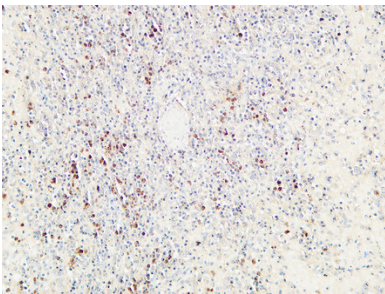
パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



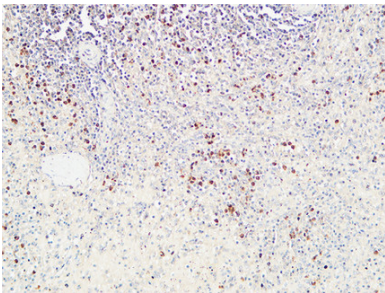
パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



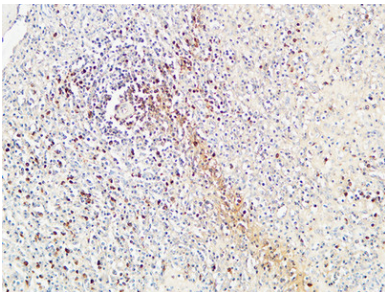
パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 (4°、一晚) に希釈した。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 (4°、一晚) に希釈した。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 (4°、一晚) に希釈した。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。